

4階南病棟紹介

4階南病棟は産婦人科病棟（37床）です。

木寺院長を含め5名の産婦人科医師と師長、主任、助産師15名、看護師10名、看護補助者2名で、患者さんのケアに日々奮闘しております。

年間約300例の分娩を、助産師15名でフル回転して昼夜を問わず頑張っています。

外来において、月4回の母親学級と妊婦検診時に個別の妊婦指導を行い、母児共に無事にお産ができるように外来から入院まで妊婦さんと関わって指導を行っています。

家族の分娩立会いもでき、新しい生命の誕生を家族で迎えることができます。帝王切開は年間の出産の34%を占めており、帝王切開出産時は万全を期して小児科医も立会っております。また、希望があれば母子同室もでき、赤ちゃんが欲しいときに授乳させる自立授乳を行い、母乳育児を推進しています。

婦人科では、手術や化学療法などの治療を受ける患者さんが入院しています。手術目的で入院される患者さんについては、手術という大きな困難を越えて、患者さんが健康を取り戻していけるようお手伝いすることで、私たちはやりがいを感じています。化学療法を受ける患者さんにも時間をかけてゆっくり十分に話を聞き、説明を行うなど精神的サポートに心掛けるとともに、病院内の緩和ケアチームと連携を密にし、疼痛の軽減や精神的苦痛に対応できるように努めています。



4階南病棟師長 前田 生子

